



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

日本赤十字社の  
活動資金へのご協力をお願いします。

## 日本赤十字社愛知県支部の主な事業について

### 1 災害救護活動

いつ、どこで発生するか予測ができない自然災害や人為災害。迅速に医療救護活動を展開するために日頃から近隣県支部や他機関と連携し、様々な想定での救護訓練を重ねています。また県内各地に、災害時に必要な資機材の配備、救援物資の備蓄をしています。



### 2 救急法などの講習

緊急時の手当や事故防止に必要な知識、技術を学ぶ4つの講習会を県内各地で開催しています。学校、PTA、会社、町内会や自主防災組織など団体からのご依頼に合わせた講習にボランティア指導員を派遣しています。また、オンライン環境での講習や動画を活用した講習も開催し、継続的な普及を行います。



### 3 国際活動

世界の192の国と地域に世界的ネットワークをもつ人道支援機関として、災害や病気で苦しんでいる人を救うため、救援活動や保健衛生環境の改善を行っています。また、現地で活動できるように「国際救援・開発協力要員」となる人材を育成しています。



### 4 青少年赤十字

青少年赤十字は、「気づき、考え、実行する」という態度目標を掲げ、県内1090以上の青少年赤十字加盟校で、いのちの大切さや人のために自ら考えて行動できる子どもたちを育成しています。



### 5 赤十字ボランティア

赤十字の活動は多くのボランティアに支えられています。地域に根差した活動を行う「地域赤十字奉仕団」特技を生かした「特殊赤十字奉仕団」、若者を中心とした「青年赤十字奉仕団」が活躍しています。



### 6 医療事業

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一・第二病院の両病院では、地域の中核的な病院の役割を果たすほか、国内外の災害時には医師や看護師を派遣します。また、コロナ禍では両病院において、新型コロナウイルス感染患者の受け入れを行い、地域の医療体制の確保に努めました。



その他の事業のご紹介は裏面につづきます》

# 日本赤十字社愛知県支部の主な事業について

## 7 血液事業

愛知県赤十字血液センターでは、病气やけがで輸血を必要とする方々のため、広く献血についての理解を求め、多くの方のご協力をお願いし、安全な血液を安定的に医療機関へ届けています。



## 8 看護師養成

日本赤十字豊田看護大学では、赤十字の国内外の救護活動をはじめとして、最先端の看護知識・技術を身に付け広く社会に貢献できる赤十字看護師を養成しています。



## 9 社会福祉

各地域における課題を把握し、行政、企業、他団体と連携し各地域で必要とされている社会活動を展開します。また、地域の保健衛生向上に寄与するために、赤十字健康教室を行っています。



### 事業における3つの重点分野

#### 1 子どもと子育て世代の支援

赤十字ボランティアによる子ども食堂や、子どもに起こりやすい事故の予防や、事故に対する手当の方法を学ぶ講習の普及など、子どもたちの育成を地域で支援します。



#### 2 多文化共生社会の実現に向けた事業の推進

日本語を十分に理解できない方にも「やさしい日本語」で救急法等の講習を普及するほか、地域における多文化共生の取り組みを、関係機関と連携をとりながら実施しています。



#### 3 災害時の被災者支援

医療救護活動に加え、救援物資の配布による生活環境の整備など被災された方を支援します。また、地域の方々や児童・生徒に対して赤十字防災セミナーや防災教育事業を実施し、災害に備えるための取り組みを行っています。



### ごあいさつ

日頃は、赤十字活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

日本赤十字社では、新型コロナウイルス感染症の流行に対し、赤十字病院において患者の受け入れと治療を継続するとともに、血液事業においては、献血協力者が減少する中でも安定的な血液の確保に努めてまいりました。

また感染症対策を徹底しながら、災害が発生した際に迅速な対応ができるよう様々な想定の実訓・研修を実施するほか、救急法等の講習普及、青少年赤十字・赤十字ボランティアの育成など、地域の方々のいのちと健康、尊厳を守る活動の充実に努めております。

これらの活動は皆さまからの継続的な活動資金のご協力により支えられております。

今後も、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

日本赤十字社愛知県支部 支部長 **大村秀孝**

## 令和5年度予算概要

令和5年度における日本赤十字社愛知県支部一般会計歳入歳出予算の概要をご報告します。

歳入		
内訳	予算額	
社資収入	1,092,000,000円	89.1%
委託金・補助金及び交付金収入	11,767,000円	1.0%
資産収入・雑収入	21,499,000円	1.7%
前年度繰越金	100,507,000円	8.2%
<b>合計</b>	<b>1,225,773,000円</b>	<b>100.0%</b>

歳出		
内訳	予算額	
① 災害救護事業と救護看護師の養成に	375,763,000円	30.7%
② 救急法や健康生活支援講習などの普及に	55,026,000円	4.5%
③ 赤十字ボランティアの活動と育成に	53,840,000円	4.4%
④ 青少年赤十字の育成と普及に	50,390,000円	4.1%
⑤ 社会福祉事業などに	18,936,000円	1.5%
⑥ 血液事業の普及啓発に	5,193,000円	0.4%
⑦ 国際的な活動に	10,684,000円	0.9%
⑧ 活動資金募集のために	56,606,000円	4.6%
⑨ 赤十字の普及・広報活動のために	36,258,000円	3.0%
⑩ 赤十字病院救急医療体制の整備に*	140,012,000円	11.4%
⑪ 市町村における赤十字活動に	121,400,000円	9.9%
⑫ 全国的な赤十字活動に	120,900,000円	9.9%
⑬ 支部の運営に	180,765,000円	14.7%
<b>合計</b>	<b>1,225,773,000円</b>	<b>100.0%</b>

\*使途が指定された活動資金による事業を含みます。

お寄せいただく資金で上記のような活動を予定しています。



#### 税制上の優遇措置

お寄せいただいた活動資金のご協力は、税制上の優遇措置が受けられます。

#### 個人情報の取り扱い

日本赤十字社(本社及び都道府県支部)は、会費(社費)、寄付金(「海外たすけあい」を含む)、海外救援金、国内災害義援金へのご協力に際して取得する個人情報について、厳重に管理・保護を行うとともに、受領証や活動報告等の送付及び事業資金等の募集活動の目的のためにのみ使用します。

